

3月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/03/01 (水)	東京はレゾ内荒れ模様。人民元に絡む報道で一時円買いが進むも続かず。その後反動安も。欧米はドルが小じっかり。発表されたISM指数が良好な数字になりドル買いを支援していた。	・1月のユーロ圏失業率8.3% ・1月の米個人所得0.7%、同個人支出0.9%、同建設支出0.2%、2月のISM製造業景気指数56.7	・一部新聞「中国は資本勘定で人民元を基本的に交換可能性とする予定」 ・アダムズ米財務次官「中国が為替をより柔軟にすることを希望」	115.77 115.60 116.33 116.09	138.09 138.00 138.83 138.43	寄付 安値 高値 終値
06/03/02 (木)	東京はドルが続伸。米大統領が週末訪問する予定のガチでテロが発生したが影響は限定的。欧米はユーロが堅調裡。利上げそのものは予想通りながらECB総裁の発言がユーロ買いを後押し。	・パキスタンのガチ米領事館付近で自動車爆弾が爆発 ・日系新聞各種早刷り「日銀の量的緩和解除は9日で最終調整」 ・ECBが政策金利を25BP引き上げ	・英仏独「3日に核問題でイランと協議」 ・トリシェECB総裁「金利は引き続き低水準で緩和基調」	116.08 115.79 116.44 115.88	138.34 138.27 139.63 139.50	寄付 安値 高値 終値
06/03/03 (金)	東京は消費者物価を受けて円買いが先行するも材料出尽くし感からかその後急反転。欧米は引き続きドル底堅い。上値も重いが発表された指標がいずれも良好でドル買いムード強い。	・1月の消費者物価指数0.5%、同失業率4.5% ・第4四半期のユーロ圏GDP改定値0.3% ・2月のシカゴ大消費者信頼感指数86.7、同ISM非製造業景気指数60.1	・谷垣財務相「日銀は3条件を良く見て判断するだろう」 ・小泉首相「まだドル脱却とはいえないが脱却の兆しは見えてきた」 ・米FRB副議長「住宅市場での急速な衰退の兆候はない」	115.81 115.81 116.81 116.38	139.40 139.40 140.23 140.18	寄付 安値 高値 終値
06/03/06 (月)	東京は円全面安。小泉発言に加えM&Aに絡む需給発生思惑など環境的に円の支援材料見当たらず。欧米は米長期金利が上昇したことなどもありドルが続伸。とくに対円では一段高推移。	・ソトバンクが英スターガフの日本現地法人を買収、との一部報道あり ・1月の米製造業受注 4.5%	・小泉首相「仮に量的緩和を解除して、2度と元に戻る事があってはならない」 ・アダムズ米財務次官「先週の訪中の際、中国と人民元に関する話し合いを行なった」	116.15 116.08 117.69 117.60	140.34 140.33 141.38 141.30	寄付 安値 高値 終値
06/03/07 (火)	東京は引き続きドルしっかり。一方、政府筋からの日銀に対するブレッシャーなどが嫌気され円は冴えない。欧米は結果ユーロ安。リアルマネーとされるユーロ売り・ドル買いが目立つ展開。ドル円はレゾ内の値動き。	・2月の外貨準備高8500.58億ドル ・昨年第4四半期労働生産性改定値0.5%、同単位労働コスト改定値3.3%、1月の米消費者信用残高39億ドル ・カナダが政策金利を25BP引き上げ	・与謝野金融担当相「デフレ克服という政府と日銀の気持ちが一緒であれば一体といえる」 ・ギリシャ中銀総裁「ECBは必要とあれば利上げをする」	117.62 117.36 118.06 117.85	141.32 139.78 141.32 140.10	寄付 安値 高値 終値
06/03/08 (水)	東京は日銀会合の行方をにらみつつレゾ内で右往左往。方向性に乏しい値動き。欧米は前日と一変したユーロ買い戻しが目に付く。欧州要人からのカ派発言もユーロ買いを後押し。	・豪州が政策金利の据え置き発表 ・北朝鮮側からミサイル2発発射との一部報道あり	・与謝野金融担当相「日銀の独立性、判断に責任負うのは当然」 ・米副大統領「イランは核問題で大きな代償を払うことになる」 ・オーストリア中銀総裁「金利は引き続き低水準にある」	117.75 117.32 118.04 117.85	139.99 139.53 140.63 140.54	寄付 安値 高値 終値
06/03/09 (木)	東京は予定通り量的緩和の解除が実施されたが、むしろ材料出尽くし感から円売り加速。欧米でも円安止まらず。米貿易赤字拡大よりも円絡みの悪材料が嫌気された。	・NZが政策金利を据え置き ・日銀が量的緩和の解除を決定 ・BOEが政策金利の据え置き決定 ・1月の貿易赤字 685.1億ドルと過去最高を更新、対日 64.5億ドル、対中 179.1億ドル	・NZ中銀総裁「年内の金融緩和は見込んでいない」 ・小泉首相「日銀決定会合で議論した結果なので尊重する」 ・一部報道「ライブドアが週明けにも上場廃止へ」(その後正式決定)	117.83 117.09 118.43 118.21	140.49 139.77 141.10 140.79	寄付 安値 高値 終値
06/03/10 (金)	東京は一時大きくドル高にふれるも結局行って来い。118円後半では輸出売りなども厚い。欧米は良好な米雇用統計や財務長官による強気のコメントを受けてドル買い優勢。一時119円台も。	・1月の機械受注 6.2% ・1月の独貿易収支119億ユーロ ・2月の米失業率4.8%、同非農業者雇用数24.3万人、同財政収支1192億ドル、1月の米卸売在庫0.1%	・日銀総裁「当面はゼロ金利政策からの再スタート」 ・米財務長官「米雇用統計の改善は米経済の堅調推移を示す証拠」	118.21 117.97 119.15 119.00	140.69 140.44 141.85 141.72	寄付 安値 高値 終値
06/03/13 (月)	東京は珍しくユーロ主導の相場展開。UAE中銀総裁のコメントがキッカとなりユーロ買い優勢で一段高。欧米はユーロ高もさることながらドルの弱さが目に付く。SF連銀総裁発言に加え狂牛病が嫌気された。	・第4四半期のGDP改定値1.3%、1月の経常黒字7191億円 ・米国内で3例目の狂牛病感染が確認される	・水野日銀審議委員「政策金利の糊しろはあるべき」 ・UAE中銀総裁「外準の10%をユーロにシフトする」 ・SF連銀総裁「利上げの行き過ぎに注意すべき」	119.03 118.73 119.20 118.73	141.86 141.73 142.34 142.04	寄付 安値 高値 終値
06/03/14 (火)	東京は前日欧米タイムの流れもあり円が小高い。またガスも償還絡みの噂から円買い優勢。欧米は米情報会社レポートの噂などからドル大幅下落。対円だけでなくユーロでも損切り巻き込み一段安。	・1月の鉱工業生産確報0.4% ・3月のZEW景気期待指数63.4 ・第4四半期の米経常赤字 2249億ドル、2月の米小売売上高 1.3%、1月の企業在庫0.4%	・中国首相「人民元の柔軟性を拡大していく」 ・米著名情報社が「米利上げは早い段階で打ち止められる」とのレポート送信の噂	118.68 117.25 118.76 117.60	142.00 140.96 142.08 141.26	寄付 安値 高値 終値
06/03/15 (水)	東京は朝方ののち、緩やかながらドル弱含み。輸出売りなどに上値を抑えられ冴えない。欧米は引き続きドル弱含み。対米証券投資の数字そのものは悪くなかったがドル売り材料に。	・2月の英失業率2.9%、同失業者数14600人 ・3月のNY連銀景況指数31.2、1月の対米証券投資660億ドルの買い越しも同月の財政赤字を穴埋めできず	・OECD事務総長「日銀はドル脱却まで利上げすべきでない」 ・「米上院議員から対中制裁策に関する発表がある」との噂 ・米地区連銀報告「米国経済は緩やかに拡大している」	117.68 117.13 117.77 117.37	141.40 141.12 141.68 141.68	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで